

# 実習指導担当者さんへ お願いしたいこと

令和6年10月31日（木）

Ⅰ 3章「ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術」担当

ケアプランセンターカルナハウス 前田 岳史

Ⅰ 4章「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習・実習振り返り」担当

ケアプランセンター結 葛川 寛美

# 本日の内容

- はじめに
- 過年度の実習について、実習生と実習指導担当者からの声（抜粋）
- 実習担当者さんへお願いしたいこと（具体的に）
- 最後に

# はじめに

何らかの思いを持って介護支援専門員の資格を取ろうと決意し、見事に合格した受講者さんに対し、現場経験の場を提供し、実践する姿を示す時間を割いていただく皆さまへ



# 皆さまは．．．

特定事業所の担当ケアマネジャーとして、困難ケースを受け入れる役目を積極的に担われると共に、地域づくりと政策提言までを視野に入れた支援をこなしつつ、後進の介護支援専門員を育てる重責も担われている **‘素晴らしい事業所の素晴らしい人財’** であり

今回の受け入れは、まさに「介護支援専門員の卵を育てる一翼を担う」という、**究極のスーパーバイズ**の機会と言えるのではないかと思います。

# 実際に実習を終えたの実習生の声

- テキストや講義演習で学んだことが、実際の場面を見ることで理解が深まった。
- サービス担当者会議に参加させてもらい、連携の重要性が理解できた。
- 指導者のケアプランを見て、インフォーマルをしっかりと活用しているのが印象的だった。

などなど、大半が「実習よかった！」という振り返りでした。



# しかし、ごく小数、こんな声も…

- （体調不良等やむを得ない事情はあったにせよ）サービス担当者会議や退院カンファレンスなど、参加できなかった。
- 模擬ケアプラン、修正されるだけで、どうしたらいいのかの説明がなかった。自信がなくなりあきらめた。
- 講義演習で学んだ、ICFシートや課題整理総括表について、「実際には使わないし、使ってないから知らない」と言われた。
- ケアマネジメント全般が見られると思っていたのに、給付管理について学べなかった。

オーマイガッ



# でも、実習指導上、工夫されている事業所さんもあります

- 業務内容全般を漏れなく見てもらえる工夫をした。
- 個別地域ケア個別会議の開催日を1～2月で依頼しておき、参加できるように工夫した。
- サービス担当者会議のシナリオを作り、事業所内でロールプレイして準備した。
- 実習者の経歴（相談員やサ責経験者等）に合わせた訪問宅の選定、実習内容を考えている。

# なので、これは (ないと思いますが) NGです・・・

- ・「ケアマネなんて大変なだけだよ」

(声に出さなくとも顔の表情、事業所の雰囲気も感じ取りますよね)

- ・他の事業所、介護支援専門員の陰口 (当然ですね)
- ・模擬ケアプラン作成にて、熱血過ぎてダメ出し全開での指導 (赤ペン先生は減りましたが…)

(確かにティーチングもこの段階では必要かと思いますが、があくまでコーチングを主に、実習生さんの考える時間とっていただき、支持的な指導・助言でお願いしたいです)

- ・実習簿での実習担当者さんからのコメント欄を一行で済ませる

(実習生さんがケアマネジャーになったとき、ずっと大切にしている方が実際おられます)



# 【模擬ケアプラン作成実習指導上の留意点】

ケアプランを赤で直さなければならない場面もあるかと思いますが、受講生がなぜそう思ったのかを、確認していただくようにお願いします。

研修の目的は、素晴らしいプランを作成することではなく、アセスメント～プランニングの思考過程を理解し、経験できることです。実習生本人の気づきを促す、コーチング的、指導・助言でお願いします。

## コーチング

なぜ〇〇と  
思ったの？

- ・問題解決能力
- ・自主性
- ・モチベーション

質問・傾聴

**思索・気づき**

主任CM  
(指導者)  
※質問攻めにならないよう  
注意する  
※傾聴の姿勢



実習生  
※言語化すること  
からの気づき

・(〇〇が)〇〇だ  
と言われたからです  
・△△を見たから  
です

## ティーチング

教える {  
・知識・情報  
・技術・スキル

答え

- ×「時間がないから…」
- ×「理想的なプランとは  
こうあるべき」を  
押し付ける



知識・技能  
レベルが向上

# 第13章 ケアマネジメントの 基礎技術に関する実習

ハ訂テキスト  
下巻P26

## 【修得目標】

- ① ケアマネジメントプロセスの実践にあたっての留意点を踏まえ、観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ② ケアマネジメントプロセスについて、指導者のもと、実習先で体験した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ③ 実際の生活環境を観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ④ 実習協力者の状況に合わせて実習を実施できる
- ⑤ 給付管理業務の流れを述べることができる

# 第13章 ケアマネジメントの 基礎技術に関する実習

## 【内容】

- ・ 実習にあたっては、利用者への居宅訪問を行いアセスメントの実施、居宅サービス計画書の作成、サービス担当者会議の準備・同席、モニタリングの実施、給付管理業務の方法など一連のケアの実習を行う。

# そこでの自己紹介 ～実習生に伝えてほしい、 聞いてほしいこと～

- 私はどうしてケアマネジャーになりたいと思ったのか
- あなたはどうしてケアマネジャーの資格を取りたいと思ったのですか？
- 私はどんなケアマネジャーになりたいと思っており、あなたにこんなケアマネジャー像を持ってほしいと思っています（ということ）

# 実習指導担当者さん へお願いしたいこと

ぜひ「ロールモデル」に  
なっていただきたい

ロールモデルとは・・・

自分にとって、具体的な行動や考え方の模範となる人物のこと。人は誰でも無意識のうちに「あの人のようになりたい」というロールモデルを選び、その影響を受けながら成長するといわれます。

こんなケアマネ  
になりたい！



# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（具体的に）

- 選定する利用者についてですが、合計4回は実際の場に出向くことができます。そのため、**ケアマネジメントプロセスを網羅しつつ**、できるだけ多くの状況・状態の方（例えば男女の別、年齢層、世帯、疾患による違い等）を見ることができるようなお配慮をお願いいたします。

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（インターク編）

- インタークについてですが、なかなか実習中にタイミングよくその場面に当たることは少ないかと思います。

事業所において使用されている受付シートなどで、過去の実際の対応等をご説明いただければと思います。

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（適切なケアマネジメント手法の活用編）

- 昨年までの実務研修との大きな違いは、研修に適切なケアマネジメント手法が取り入れられたことです。こちらについては、受け入れ事業所の皆さまは基本的なことは研修等で学ばれているとお聞きしております。
- 実習生の皆さまは、この新たな手法を取り入れたケアマネジメントを当然のこととして学んで実習に来られます。



# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（適切なケアマネジメント手法の活用編）

- ただこの実習の目的は、まずは基本的なケアマネジメントプロセスを知っていただく過程としてのモニタリング訪問、会議の雰囲気を知ってもらうことが主目的ですので、手法のレクチャーがメインではなく、構えていただく必要はないかと思います。。
- ただ実習生さんは、必死にケアマネジメント手法に沿ったアセスメントをしようとされてくるので、質問があがってくる可能性があります。
- その時に少なくともケア項目一覧等の見方は伝えていただきたいと思います。そして「我々も手法活用の面では一年生、共に学んでいきましょう」とエールを送っていただければと思います。

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（アセスメント編）

- アセスメント場面で講義演習に使っているICF思考による情報整理・分析シート、課題整理総括表、プロセスシートについて、「それは現場では使っていないから…」と切り捨てるのではなく、質問がきた際には懇切丁寧に教えてあげてください。
- 記載方法はもちろん、その記載に至る「思考過程」の理解まで促していただければ、ケアマネジメントプロセスの実際がおぼろげながらも掴めるのではないかと思います。

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（アセスメント編）

- 実習生は、模擬ケアプラン作成のためのアセスメントを、情報収集はテキストのフェイスシートにて行い、その収集した情報の整理・分析をICFシートにて行います。
- 指導担当者の皆さんには、「シートの書き方」ではなく、「考え方」「思考過程」を理解できるように、ご指導をお願いします。

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（課題整理総括表編）

- 模擬ケアプラン作成の際、アセスメントの振り返りとして課題整理総括表を作成します。
- 実習前の講義でも、作成に当たっての記載上のルール、考え方について、テキスト事例に基づき作成演習を行っています。
- 実習では、記載上のルールを押さえることはもちろんですが、特に「自立した日常生活の阻害要因」と「見通し」について、『課題整理総括表の手引き』や模擬事例を通して「考え方」をご指導ください。

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（課題整理総括表編）

- また、課題整理総括表は研修後半の「ケアマネジメントの展開」のうち6類型（脳血管疾患・認知症・大腿骨頸部骨折・心疾患・誤嚥性肺炎・看取り）の演習でも適宜使用します。ぜひ今一度『課題整理総括表の手引き』を見返していただき、ご説明ご指導のほどよろしくお願いいたします。

※サービス担当者会議などで活用している場面を見せていただければ、より活用方法が理解できるかと思います…

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（サービス計画編）

- **居宅サービス計画書（ケアプラン）**については、サービス担当者会議等やモニタリング訪問の前に見せていただき、どのようなアセスメントでその計画となったのかをご説明していただいた上で、会議や訪問が、そのプランの課題の変更やモニタリングによるプランの修正の発見といった、ケアマネジメントプロセスの一環であることを意識させていただきたいと思います。

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（サービス計画編）

- 令和3年3月31日付で「サービス計画書の様式及び課題分析標準項目の提示について」の一部改正（介護保険最新情報Vol.958）が発出されました。実務研修では、改正部分を特に強調して学んで頂いております。
- 皆さまからも、この「通知(特に記載要領とその変更部分)」変更部分を実践の場でどのように運用されているかを、直接受講生さん達へ伝えていただければと思います。

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（会議編）

- サービス担当者会議や地域ケア個別会議等へ参加していただく場合には、準備段階から留意点等、共に参加して頂き指導をお願いしたいです。
- またサービス担当者会議後の会議録についても、実際にどのような記録になるのかを見せていただくと、より実践的な学びになります。

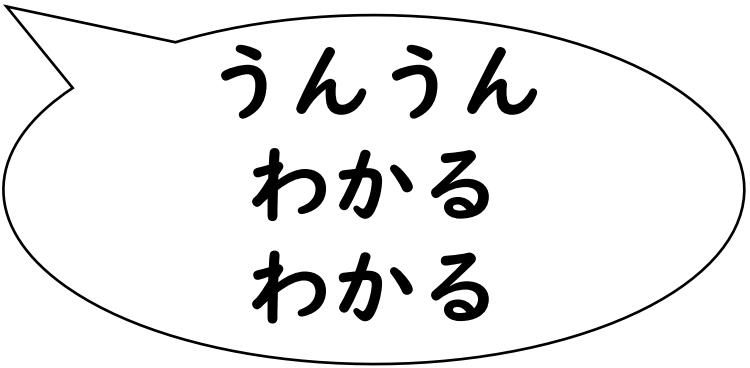


# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（モニタリング編）

- **モニタリング**訪問では、短期目標の達成状況の確認という主目的があるかと思います。漫然と訪問に同行させる方はおられないかと思いますが、ぜひ貴事業所でお使いの**モニタリング表**を一緒に持参いただき確認するなど、ひと工夫していただければと思います。

# 実習指導上でのお悩み

- 計画を事前に出さないといけないので暫定で作るが、その通りにいったためしがない。
- 通常業務との時間配分に苦勞した。
- 相手は高齢者様であり、急な体調不良等もありうることから柔軟な対応が求められる。
- 「ケアマネはしません」と言われている実習者への指導はモチベーションが上がりません（複数）。



うんうん  
わかる  
わかる

# 実習指導担当者さんへお願いしたいこと（とどのつまり）

「私もケアマネやってみたい！」  
と思えるよう、やりがいや重要性、  
魅力をぜひ伝えてあげていただき、  
我々の未来の仲間・後進を育てる  
後押しをお願いしたいと思います。

※毎年、実習後「ぜひやってみたい！先輩の応援のおかげ…」と話される方がおられます。

# 最後に



- ひよこは、生まれて初めて見たものを親だと認識する、という話があります。
- ほとんどの実習生は、介護支援専門員の実務を目にするのは初めてだと思います。
- ぜひ、ロールモデルとなり、実習生が「ケアマネジャーの仕事がしたい、こんなケアマネジャーになりたい」という姿を見せてあげていただければと思います。



ご清聴ありがとうございました